

View
point

イラン政府は先日、モハレベ(神に対する敵)罪でイラン人男性2人を処刑した。昨年6月の大統領選後のデモ関連で初の死刑である。だが2人の逮捕は、実は選挙の何週間も前だった。それでも2人は選挙後の弾圧で逮捕された数百人と共に、国営テレビのカメラの前に並べられた。その多くもデモに参加していなかった。

今回の処刑は、反体制派を「テロリスト」とみなし、厳罰に処するとのイラン政府の意思表示だ。今後も政治囚への死刑は続くだろう。新たに、少なくとも9人を処刑にすると発表されている。

日本はイランに意見すべき時

この処刑に日本政府は沈黙している。実際、大統領選後のイランでの大規模な人権弾圧に、日本はほぼ沈黙している。

イランでは反体制活動家やデモの参加者が大量に逮捕された。デモの際に街頭で死亡した者もいるし、刑務所で不審死した者もいる。刑務所では拷問や性暴力が横行しているのだ。これに対し、日本政府の声明は二つ。死傷者発生に「懸念」を表明し、一連の対立について「平和的な解決」を求めただけである。

日本とイランは主要な貿易相手国で長年の友好国。日本政府の対応も驚くにはあたらない。日本はイランの中国に次ぐ第2の貿易相手国で、日本にとってイランはサウジアラビア、アラブ首長国連邦に次ぐ第3位の原油供給国だ。また、日本はイランに累計1000億円以上の開発援助を実施してきた。

日本とイランは主要な貿易相手国で長年の友好国。日本政府の対応も驚くにはあたらない。日本はイランの中国に次ぐ第2の貿易相手国で、日本にとってイランはサウジアラビア、アラブ首長国連邦に次ぐ第3位の原油供給国だ。また、日本はイランに累計1000億円以上の開発援助を実施してきた。この処刑に日本政府は沈黙している。実際、大統領選後のイランでの大規模な人権弾圧に、日本はほぼ沈黙している。イランでは反体制活動家やデモの参加者が大量に逮捕された。デモの際に街頭で死亡した者もいるし、刑務所で不審死した者もいる。刑務所では拷問や性暴力が横行しているのだ。これに対し、日本政府の声明は二つ。死傷者発生に「懸念」を表明し、一連の対立について「平和的な解決」を求めただけである。イランの主要貿易相手国で大国たる日本には、独自の役割がある。イラン政府に、平和的なデモ参加者や反体制派への暴力をやめて、政治囚全員を即時釈放するよう求め、デモ参加者や非政府組織(NGO)活動家の殺害や逮捕について透明で包括的な調査をするよう意見すべきだ。そして、大規模な人権侵害の責任者の訴追を求めるべきだ。